

続・糖尿病 50話

毎週火曜

■第8話■

現在、日本では2型糖尿病の人が増え続け、それに伴う合併症の増加が問題となっており、国を挙げての取り組みが行われています。

その一つが糖尿病予防のための戦略研究(J-DOIT3)です。これは糖尿病の合併症(心筋梗塞、こうそく、脳卒中、腎臓や目の障害など)を抑制する方法を確立するための研究です(詳しくは<http://www.jdoit3.jp>)。糖尿病患者さんの心筋梗塞や脳卒中を

予防するには、血糖値だけではなく、血圧や脂質などを厳格にコントロールする必要がありますと言われていますが、これまでそれを大規模に証明した試験はありませんでした。

J-DOIT3では、HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)6.5%以上で、高血圧、脂質異常症(高LDLコレステロール血症、低HDLコレステロール血症、善玉コレステロール血症、高中性脂肪血症)のうち少なくとも一つを合併する45

合併症予防の研究

J-DOIT3でのコントロール目標

	強化療法	従来療法
血糖	HbA1c<5.8%	HbA1c<6.5%
血圧	120/75mmHg未満	130/80mmHg未満
脂質	LDLコレステロール<80mg/dL 中性脂肪<120mg/dL	LDLコレステロール<120mg/dL 中性脂肪<150mg/dL

69歳の2型糖尿病患者さん3000人以上に参加していただいた。血糖値、血圧、脂質のコントロールを現在適切と考えられているより

もさらによくコントロールする人たち(強化療法群)と現在適切と考えられている目標を達成する人たち(従来療法群)に分けて、心筋梗塞や脳卒中の起こり方に差があるのかを検討します。表。

強化療法群では、食事や運動などの生活習慣の改善を重視し、必要なら薬による治療を段階的に強化していきます。新しい糖尿病治療の指針の確立を目指して、現在、全国81の病院が参加して行われていて、その結果が注目されています。

(J-DOIT3研究事務局、岡畑純江)